

製品名: NT5E マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80759**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	NT5E
別名	eN; NT5; CD73
遺伝子 ID	4907.0
SwissProt ID	P21589
免疫原	大腸菌で発現した NT5E の精製された組み換え断片。

背景

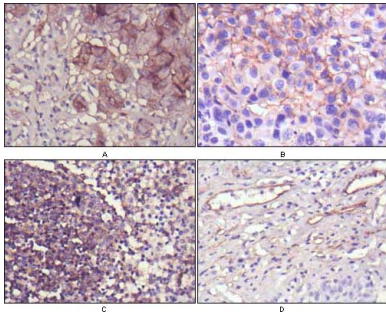
エクト 5'-ヌクレオチダーゼ (NT5E)、別名 CD73 (Cluster of Differentiation 73) である。エクト-5'-ヌクレオチダーゼ (5'-リボヌクレオチドホスホヒドロラーゼ; EC 3.1.3.5) は、中性 pH においてプリン 5'-モノヌクレオチドをヌクレオシドに変換する反応を触媒

する。好ましい基質は AMP である。本酵素は、グリコシルホスファチジルイノシトール結合によって細胞膜外面に結合した 2 つの 70kD の同一サブユニットからなる二量体からなる。本酵素はリンパ球分化のマーカーとして用いられる。そのため、NT5 の欠損は様々な免疫不全疾患で認められる (例: MIM 102700、MIM 300300 参照)。他の形態の 5-プライムヌクレオチダーゼは細胞質とリソソームに存在し、基質親和性、二価マグネシウムイオンの必要性、ATP による活性化、および無機リン酸による阻害によってエクソ NT5 と区別できます。

研究分野

-

画像データ



NT5E マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト肺癌 (A)、胆管癌 (B)、リンパ節 (C)、食道 (D) 組織の免疫組織化学分析。